

5 資料編

5-1. 東京都への要望

東京オリンピック・パラリンピックの施設の基本設計に先立ち、平成26年7月に江東区より東京都へ下記の要望を提出しました。

1. 都市型ロープウェイの導入

オリンピック・パラリンピック開催に向けた魅力的な観光資源として都市型ロープウェイを導入する。交通手段として比較的高い輸送力を有し、道路交通に負荷をかけずに短時間で整備が可能のため、都心方向へのアクセス強化にも貢献が期待できる。



整備する地区：
○有明北・有明南・豊洲地区

2. 競技場の木構造採用

江東区・木場の木材業の伝統や日本の大規模木造建築の技術を世界へ発信し、その育成を図るため、恒久的な競技場を木造を主体とする構造で整備する。競技場自体が来訪者の印象に残り、観光資源となることに加え、特色のある景観形成にも貢献する施設とする。



整備する地区：
○有明北地区
○辰巳・夢の島地区
○若洲・中央防波堤地区

5. 新木場駅・夢の島間歩行者デッキの整備、コミュニティサイクルの推進

辰巳・夢の島地区の競技場へ向かう観客の安全・円滑な移動確保のため、新木場駅構内の貫通通路と高速道路および国道上空を横断して夢の島地区までを結ぶ歩行者デッキを整備する。新たな歩行者ネットワークの創出により新木場地区と辰巳・夢の島地区の連携を強化する。

更に、コミュニティサイクル導入を積極的に推進し、エリア内の回遊性を向上させる。



整備する地区：
○有明北・有明南・豊洲地区
○辰巳・夢の島・新木場地区
○若洲・中央防波堤地区

6. 有明地区ユニバーサルデッキの整備

物流幹線道路が縦横に走る有明地区において、人の移動の安全を守り、かつ円滑な物流を図るために、人と車の移動空間を分離したユニバーサルデッキを整備する。オリンピック・パラリンピック後の跡地利用にも生かすため、重層的なデッキ整備を行う。



整備する地区：
○有明北・有明南地区

3. 水上バスステーション・ 水陸両用バス用スロープの整備

オリンピック・パラリンピック開催に向けた来訪者の増加に合わせ、水辺の魅力を観光に生かすため、水上バスステーションや水陸両用バスのためのスロープの整備が必要である。これにより、舟運利用や水陸両用バスの路線の誘致を推進する。



整備する地区：

- 有明北・豊洲地区
- 辰巳・夢の島・新木場地区
- 若洲・中央防波堤地区

4. 競技場の屋上・壁面緑化推進、 清掃工場の排熱利用

省エネや景観形成のために、競技場の屋上や壁面への緑化を推進する。更に、エネルギーの有効利活用のために清掃工場の排熱を利用し、競技場にアイススケート場の機能を付加する。



整備する地区：

- 有明北・有明南地区
- 辰巳・夢の島地区

7. 競技場の賑わい拠点化

まちの活性化とスポーツによるコミュニティ形成のため、競技場と周辺の駅・商業施設などとの連携を強化する。また、日常的なスポーツ活動が可能な施設や賑わいを生む機能を導入する。



整備する地区：

- 有明北地区
- 辰巳・夢の島地区
- 若洲・中央防波堤地区

8. 競技場の防災拠点化

広域的な防災機能の強化のため、競技場に防災拠点として活用可能な機能を導入する（防災備蓄倉庫、独立型電源、船による物資搬入を考慮した施設動線など）。また、既存の防災拠点である「有明の丘」とも連携させる。



整備する地区：

- 有明北・有明南地区
- 辰巳・夢の島地区
- 若洲・中央防波堤地区

5-2. 策定の経緯

関係者名簿

東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催準備推進本部

本部長	政策経営部を担当する副区長
副本部長	政策経営部を担当する副区長以外の副区長・教育長
本部長	庁議メンバー（部長級）及びオリンピック・パラリンピック開催準備担当課長

東京 2020 オリンピック・パラリンピックまちづくり検討委員会

委員長	苦瀬 博仁	流通経済大学教授
副委員長	川内 美彦	東洋大学教授
委員	落合 庸人	株式会社 落合街づくりコーディネイト 代表取締役
	政策経営部長、地域振興部長、環境清掃部長、都市整備部長、土木部長	

東京 2020 オリンピック・パラリンピックまちづくり検討会議

座長	都市整備部長
副座長	環境清掃部長、土木部長
委員	企画課長、計画推進担当課長、港湾臨海部対策担当課長、防災課長、地域振興課長、経済課長、文化観光課長、スポーツ振興課長、障害者支援課長、健康推進課長、温暖化対策課長、都市計画課長、まちづくり推進課長、住宅課長、建築課長、建築調整課長、地域整備課長、管理課長、道路課長、河川公園課長、施設保全課長、交通対策課長、地下鉄8号線事業推進担当課長、庶務課長

これまでの経緯

年月	主な内容
平成 25 年 9 月	2020 年オリンピック・パラリンピックの東京開催決定 東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催準備推進本部を庁内に設置
平成 25 年 12 月	東京 2020 オリンピック・パラリンピックまちづくり検討会議、 同検討委員会を庁内に設置
平成 26 年 5 月	江東湾岸エリアにおけるオリンピック・パラリンピックまちづくり 基本計画アウトラインを策定
平成 26 年 7 月	東京 2020 オリンピック・パラリンピック施設の基本設計に先立ち、 アウトラインの方策を東京都に提案 「聞かせて！あなたのオリンピック・パラリンピック」の開催 (7~10 月に計 4 回)
平成 27 年 2 月	(公財) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が 東京 2020 大会開催基本計画を策定 「聞かせて！あなたのオリンピック・パラリンピック」のご意見・アイデア 1,702 件を、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会及び東京都 オリンピック・パラリンピック準備局に提出
平成 27 年 6 月	江東区オリンピック・パラリンピックまちづくり基本計画を策定
平成 27 年 7 月	本計画の実施案を東京都に提案（予定）

聞かせて！あなたのオリンピック・パラリンピック

江東区では、2020年東京オリンピック・パラリンピックを後世に残る素晴らしい大会にするため、区民の皆さんからアイデアを聞くイベント「聞かせて！あなたのオリンピック・パラリンピック」を開催しました。区長はじめ区幹部職員、区議会議員が、直接皆さんのお話を伺いました。

平成26年7月～10月に開催された4日間のイベントで821名、10月18日・19日に開催された、江東区民まつりで421名、延べ1,242名もの方々から、ご意見・アイデアをお寄せいただきました。いただいたアイデア等は、今後の参考とさせていただきます。

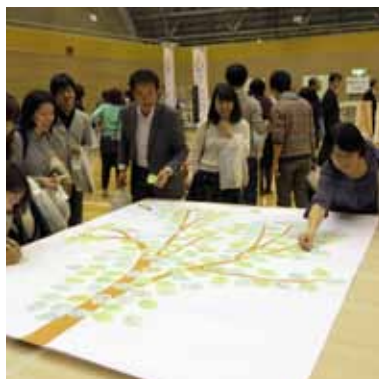
なお、ご意見・アイデア一覧は、平成27年2月3日（火）、東京都オリンピック・パラリンピック準備局及び東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に提出しました。

開催日	開催場所	参加者数
7月24日（木）	スポーツ会館	241名
9月4日（木）	深川スポーツセンター	182名
9月9日（火）	亀戸スポーツセンター	167名
10月24日（金）	有明スポーツセンター	231名
計		821名

ご意見・アイデア数（全1,702件）

内容	件数	内容	件数
交通	258件	福祉	56件
区（日本）のアピール	131件	環境	51件
ボランティア	111件	スポーツ振興	50件
安心・安全	111件	観光・産業振興	49件
応援・観戦	101件	情報	47件
言語・サイン	93件	選手とのふれあい	44件
競技施設	93件	大会	44件
おもてなし	84件	国際交流	38件
こどもの参加	71件	パラリンピック	31件
気運醸成	70件	宿泊	25件
まちづくり	61件	その他	83件

※「聞かせて！あなたのオリンピック・パラリンピック」でお寄せいただいたご意見・アイデア数です。



「聞かせて！あなたのオリンピック・パラリンピック」開催時の様子 「夢の木」（区民のみなさんから寄せられたご意見・アイデア）

5-3. 用語集

< ア行 >

インターナショナルスクール

主に英語により授業が行われ、外国人児童生徒を対象とする教育施設。

ウォーターフロント

都市の海や川に面した地区。臨海部。

エコマテリアル

優れた特性・機能を持ちながら、より少ない環境負荷で製造・使用・リサイクルまたは廃棄でき、しかも人に優しい材料（または材料技術）。

エコロジカルネットワーク

分断された多様な生物種の生息・生育空間を相互につなげること。

エリアマネジメント

地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、区民や事業者等が主導する取り組み。

LCCO₂

ライフサイクル CO₂ の略で、建築物の建設から運用、解体まで全ての工程に伴い発生する二酸化炭素のこと。

大型幹線共同溝

直接沿道地域のサービスを目的としない幹線ケーブルや幹線管路を収容するもので、主に車道の地下に設置されている。

オリンピック・パラリンピックレガシー

オリンピック・パラリンピック大会開催を通じて後世に残る資産・次世代への贈り物。競技施設や交通インフラなどの構造物だけでなく、スポーツ振興などの社会・生活スタイル、国際化の進展や住民・国民の意識変革も含む。

< カ行 >

コーシャ

ユダヤの教えで許された、「健全な商品や活動」のことの全般。

コミュニティサイクル

レンタサイクルの形態のひとつで、都市の一定範囲内に設置してある自転車を、好きな貸出場所で借りたり返却することができるシステム。

< サ行 >

再生可能エネルギー

太陽光、風力その他非化石エネルギー源のうち、エネルギー源として永続的に利用することができるものと認められるもの。

CIG

CITY IN THE GREEN の略。都市の中の緑ではなく「緑の中の都市」をイメージした緑化推進事業で、公共施設の緑化のみならず、民間施設の取り組みを推進させ、区民の緑への愛着を育み、潤いある都市空間を創出するとともに、地球温暖化やヒートアイランド現象の防止に貢献することを目指す取組。

水素エネルギー

水素を酸化するときに発生するエネルギー。原料となる水素は、火力・原子力等の一次エネルギーを利用して、水や石油からつくられる。酸化されて水のみを生ずることから、クリーンなエネルギーとされる。

スポーツツーリズム

スポーツを「観る」「する」ための旅行に加え、スポーツを「支える」人々との交流や、旅行者が旅先で多様なスポーツを体験できる環境の整備も含むもの。

スマートエネルギーネットワーク

燃料電池やコージェネレーションなどのエネルギーの革新的技術を活用し、電気・熱・再生可能エネルギーおよび未利用エネルギーなどのベストミックスを実現する次世代エネルギー・社会システム。

スマートコミュニティ

エネルギーを賢く「つくる」「送る（蓄える）」、「使う」取り組みに加え、それを新たな「地域活力につなげる」ことを目指す地域社会。IT技術等を活用して、一定規模のコミュニティの中でエネルギーの需要と供給を管理し、エネルギーの利活用の最適化を図る。

< タ行 >

地域冷暖房

ある地域内の多くの建物に対し、中央冷暖房機関から、冷水または蒸気などの冷熱源を供給して行う冷暖房方式。

中水利用

ビルや大規模施設の排水を再生処理してトイレ洗浄水、散水用水などの雑用水として利用すること。中水利用は、都市部の水不足対策、下水道負荷の軽減、水資源の有効利用、水道・下水道の料金の節約などを目的に行われている。

中量交通システム

小型車両がコンピュータ制御により自動走行するシステムで、従来の鉄道とバスの中間の輸送力を有するもので、モノレール、新交通システムなどの様々な形式がある。

デジタルサイネージ

屋外・店頭・公共空間・交通機関など、あらゆる場所で、ネットワークに接続したディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するシステム。

< ハ行 >

ハラル

イスラムの教えで許された、「健全な商品や活動」のことの全般。

バリアフリー

高齢者や障害者が社会生活をしていくうえで、物理的、精神的な障壁（バリア）を取り除こうとする取組み。

BRT

バスを用いる都心における大型の旅客輸送システムで、一般道もしくは占用レーンを走行し、信号や渋滞の影響を受けにくい定時運行を行うことができる交通。

ビューポイント

眺望のよい場所。

ビジネスツーリズム

ビジネスを通じて新しい旅行の魅力を創り出し、多種多様な地域観光資源を生かした訪日旅行・国内観光のこと。

フィールドアスレチック

自然の地形や木立などを利用したコース上に丸太や綱などで作った種々の設備を設け、そこを次々に通過することで筋力・平衡感覚などを養うスポーツや、その施設のこと。

ブランディング

経営・販売上の戦略として、ブランドの構築や管理を行うこと。会社・商品・サービスなどについて、他と明確に差別化できる個性（イメージ・信頼感・高級感など）をつくりあげること。

フリー Wi-Fi

無料でWi-Fi（無線LAN）が利用できる場所（スポット）またはサービスのことを指す。通信キャリアによる制限がなく、有料契約不要で利用できるため、スマートフォン等を活用して広く情報提供を行う際のインフラとして機能する。

分散型エネルギーシステム

大規模な発電設備からの供給による従来の集中型のシステムに対し、再生可能エネルギーやコージェネレーションシステムなどのように、地域ごとにエネルギーをつくり、その地域内で利用していく仕組みのこと。供給時の電力ロスの低減や災害発生時に電力ネットワークが停止した際の電源供給源の役割を果たすことが期待される。

歩行者デッキ

自動車道路と立体的に分離した歩行者専用通路。

< マ行 >

MICE

会議（Meeting）、報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

< ヤ行 >

ユニバーサルデザイン

都市空間などにおいて、あらゆる年齢や体格、能力を持つ人が利用しやすいようにするデザインの考え方。

< ワ行 >

ワークショップ

少人数のグループ活動を原則として、協働作業を通して合意形成を図る会議や学習の方法。

5-4. 江東区の現状 (平成 27 年 2 月 1 日撮影)



江東湾岸エリア



地下鉄 8 号線 (豊洲～住吉間) 延伸予定地周辺



東側からの遠景



深川・城東エリアからの全景